

## 平成26年第2回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 石田 修一

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 国道、県道の路側帯の整備について	<p>昨年12月1日に改正道路交通法が施行され、改正後は道路の左側の路側帯に限ることとされ、違反者には罰金も科せられた。</p> <p>特に自転車通学の中学生は、学校から米出までの県道と交通量の多い国道188号線を通ることになり、下校時には危険な海側を通学することになる。本町は安全・安心な町を目指しているので、早急に整備するように国や県に要望してはどうか。</p>	町長
2. 環境美化活動の推進について	<p>町の美しいまちづくり推進条例の目的に、行政、町民、民間企業の関係者がそれぞれの責任を自覚し、互いに協力しあって、美しくて魅力ある田布施を実現するために環境美化運動を実施するとある。すでに10年以上が経過し、花の苗を自治会に配るなどが主な内容でマンネリ化していると思う。新たな取り組みを行なうなど、もっと積極的に取り組むべきと考えるが町長の考えを尋ねる。</p> <p>また、高齢化により空き家も増加し、地域住民の生活環境に悪影響を与えている。</p> <p>私は平成24年12月定例会の一般質問で、空き家、倒壊寸前の家屋の現況調査を提案したが、その後の進捗状況はどうか。</p>	町長
3. 政策調整委員会の政策課題や活動状況について	<p>平成24年12月定例会で、地場産業の振興と6次産業の推進について尋ねたところ、積極果敢に取り組むと答弁されたが、その後の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>また、10項目の政策課題を政策調整委員会で調査研究し、年度内に一定の方向性を出すと言われたが、委員会全般の活動状況並びに成果についても尋ねる。</p>	町長
4. 合併処理浄化槽の推進について	<p>本町の公共下水道事業は、平成24年度末現在で256.4ヘクタールを整備し、普及率は42.9%となっている。快適で衛生的な暮らしのためには、早急な対策が必要であり、下水道整備も有効な対策であるが、膨大な経費と時間がかかる。財政的に厳しい状況にあるので、費用対効果を考慮すると、合併処理浄化槽の設置を推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>また、合併処理浄化槽には個人設置型と市町村設置型があり、他県の市町では、公設の合併処理浄化槽事業を実施し、高い普及率を上げているところもあるので、本町でも検討してみたいはどうか。</p>	町長

質問者2 清神 清

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 選挙投票日の時間短縮について	<p>山口県知事選挙、そして上関町議会議員の選挙も終わりました。期日前投票になり、投票日に都合の悪い人も気軽に投票でき、多くの方が投票されるようになった。上関町では、約5年前からすでに投票時間を短縮しているが、投票率に影響はないとのこと。</p> <p>現在、投票日は朝7時から夜8時までとなっているが、時間延長が投票率アップの効果にはつながっていないし、投票時間は十分確保されていると思う。</p> <p>本町では、10月に町長選挙を控えているが、投票時間の短縮の見直しをすべきと考える。投票率を上げる対策はなされているのか。見直し前の18時に戻し、選挙に関心をもたせる対策を講じる必要があると思うがどうか。</p>	選挙管理委員長

2. ジビエセンター建設について	<p>私は過去3回にわたり有害鳥獣に関する一般質問をいたしました。田布施町でも山間部ではイノシシの被害が多発し、耕作放棄地も年々増加の一途をたどっています。</p> <p>捕獲しても焼け石に水の状態ですが、捕獲した肉も保健所が認定した解体施設がなく、販売することもできません。昨年4月から下関の豊田町にジビエセンターができ、供用開始となりました。</p> <p>昨年の3月議会での一般質問で、単独運営は困難であるが、岩国から周南市までの5市5町での協議会で、広域整備の可能性について情報収集に努めてまいりたいとの答弁であったが、その後情報収集はどれだけ進んでいるか。また、建設に向けて前向きに考えているか尋ねる。</p>	町長
3. 田布施川河川敷にカラー舗装を	<p>現在、地域ごとに花壇の手入れ、海岸や道路のゴミ拾い、自転車道の草刈り奉仕など沢山のボランティアの協力で田布施町も美しくなりつつあります。</p> <p>最近では田布施町を丸ごと公園化しようと桜の苗木を無償で配布しているグループもあり、テレビでも紹介されていました。</p> <p>そのような中、桜保存会の会合で、田布施川の河川敷をカラー舗装して遊歩道を作れば、なお一層観光客も増えて、春には桜並木を沢山の方々が散策できるのではないかと。そして、真夏に伸び放題の雑草も美しくなるのではとの意見が出ました。</p> <p>この度の県知事選挙で若い知事が誕生いたしました。この機会に早急に県に交渉して田布施川周辺をもっと美しいものにしたいと思うが、町長の考えを尋ねる。</p>	町長

質問者3 松田 規久夫

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 健康増進計画について	<p>介護給付費は23年度が前年度比で約1億円、24年度は約5千万円と町財政負担が増えていると聞いた。日本の急速な高齢化を考えると、今後も増加が見込まれる。特に、人口の多い団塊の世代が高齢化するので、医療・介護費の増加が懸念される。病はかかる前に防ぐことで、健康寿命が延び、医療や介護費用も抑えられる。</p> <p>平成25年3月に、食育推進計画を盛り込んだ田布施町健康増進計画が策定された。私は生活習慣病を予防するために健康増進計画ができたと考えている。この中には、行政の役割として一人ひとりの健康づくりに対する支援をしますとあり、第4章には、項目別に行政の具体的な取り組み内容が記載されている。計画は作ってから実行することに意味があるので、次の点について進捗状況を尋ねる。</p> <p>①この計画を実現するため、健康づくり推進協議会などの関係団体と行政が協力、連携することが必要であるが、具体的な推進体制はできているのか。</p> <p>②食育の視点を取り入れた地産地消を推進するとあるが、どのように進めているのか。</p> <p>③運動習慣のない人の割合が多いが、気軽に取組める運動をどのように推進しているのか。</p> <p>④うつ病予防の推進（啓発やゲートキーパーの育成）はどのように進んでいるのか。</p>	町長

2. 町職員の 人材育成につ いて	<p>職員の大量退職に伴い、毎年多くの若手職員が採用されている。たとえどんなに優秀な人材でも、計画的に育成していかないと、成長は期待できず有能な職員に育たない。</p> <p>役場業務にとって、語学を含め必要な資格は多種類ある。自己啓発研修受講で自ら研さんし、各種資格を取得する機会は必要だと考える。</p> <p>そこで、田布施町の職員に対する人材育成とスキルアップの施策について尋ねる。</p> <p>①田布施町の目指すべき職員像はどう考えているのか。</p> <p>②日本語会話の困難な来客者に対応可能な人材は確保できているのか。</p> <p>③田布施町に自己啓発研修制度はあるのか。あれば希望者は誰でも受講可能か。</p> <p>④業務上必要な資格取得者を奨励する支援制度の導入はどうか。</p> <p>⑤高年齢職員の大量退職に伴う知識、技術を引き継ぐOJT（職場研修）はどのように実施するのか。</p>	町長
-------------------------	---	----

質問者4 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 情報通信の安全安心対策について	<p>青少年に急速に普及している情報通信機（PC、スマホ、タブレットなど）は便利な反面、有害な情報や犯罪の巻き込まれなど社会問題化している。県教委も「児童生徒のインターネット利用対策会議」でネット利用調査を5月頃予定するなど対策に乗り出す。</p> <p>総務省も地域における安心、安全な利用環境整備としてE-ネットキャラバンやサイバー犯罪対策セミナーなどの啓発活動も盛んになってきているが、特に保護者が把握しておくべき情報が不足しており、どのように対応すればいいのかわからないとの意見もある。</p> <p>そこで、青少年及び保護者等への啓発活動を町が進めるべきと思うがどうか。また、情報通信機を扱う青少年がネットのマナーとルールを守るような指導を町や学校でできないのか尋ねる。</p>	町長 教育長
2. 介護保険制度について	<p>国では、少子高齢化の進展に伴い、平成27年度からの社会保障制度改革に向けて検討されている。比較的軽い介護を必要とする要支援1、2に該当する高齢者、いわゆる「要支援者」が、これまで介護予防給付で受けてきたサービスを、介護保険から外して地域支援事業として市町村に移行しようとする案が示されている。</p> <p>また、特別養護老人ホームの入所対象者を原則、要介護3以上にするなど、国は施設から在宅介護に切り替えようとしている。</p> <p>市町村事業になると、自治体の負担は大幅に増えて、財政状況によって、自治体間格差が生じるなど、介護の質の低下等が懸念されている。そこで次の点について尋ねる。</p> <p>①現在、町内の高齢者で、要支援1、2に該当する人は何人いるのか。</p> <p>②その人たちが移行してくると、事業量が増えるので、現在の地域支援事業を今後見直し、拡充する必要があると思うが、その対策はどう考えているか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 有害鳥獣被害防止対策について	近年、有害鳥獣による被害が増加している。農家は生産意欲をなくし、耕作放棄地は増えている。このままでは人的被害に及ぶ恐れもある。有害鳥獣被害防止対策を尋ねる。	町長
2. ほ場整備について	山口県内の「平成25年7月28日大雨災害」による重機の不足や建設労務の不足などにより、国営のほ場整備工事が遅れている。金銭面でも消費税アップなどにより地元負担が増加し、営農計画も修正が必要だ。また、人手不足、重機不足で入札不調となっている。 ①今後予定期間内に工事が終了するのか。 ②事業の遅れで地元の費用の負担増、営農計画の修正等、町の行政に責任はないのか。	町長
3. 中山間地等直接支払制度について	波野地域は農業振興地域・鳥獣保護区域に指定され、農山村の環境維持が求められる区域でもある。一方、急速な高齢化による担い手不足を解消するため法人を設立し集落営農を採用し、取り組むこととしているが、①鳥獣被害防止対策費の増加 ②被害による収穫量の不安定化 ③急斜地での作業効率の低下等で著しく生産条件が劣っている。このような条件を勘案し、知事の指定する中山間地等直接支払制度（特認地）に指定するよう申請願いたい。	町長
4. 町長の進退について	町長は2期7年5ヶ月町政を行われている。その間、最重要課題である財政健全に一定の成果を出し、評価している。また、公約の一つである、ほ場整備も実施されている。しかしまだやり残した仕事もあると思うが、10月実施予定の町長選挙に再出馬の意志がとおりか尋ねる。	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 広告料収入をもっと増やしては	数年前から、広報たぶせの中に民間広告が載るようになった。広告料収入増には他にもいろんなアイデアがあると思う。案の一つとして、町民プールや体育館、グラウンドなど企業に命名権を募集してはどうか。柳井市の例を挙げると、ビジコム柳井スタジアム、バタフライアリーナの2件とも年間105万円の広告収入だそうだ。プールの工事費も高騰の折、広告収入で少しは費用を補ってはどうか。また、グラウンド周辺に広告看板を立てるなどの案はどうか。厳しい財政の中、広告料収入をもっと増やすことは大事と思う。5年前の一般質問では庁舎内看板をしては、というのしたが、それはどう検討されたか。	町長 教育長
2. 地域おこし協力隊員を増やしては	昨年春から2名の地域おこし協力隊員が活動している。新聞発行やいろんな行事のお手伝いなど頑張っているようだ。私もある行事で一緒になったが、地域に溶け込もうとする姿には感動した。高齢者の方々からも高評価されているように見えた。 3年間の給与の制約やいろんな問題点もあると思うが、地域の活性化のためにも数年後と言わず、今の2名と言わず、もっと多くの隊員を募集してはどうか。	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 集落の維持について	<p>集落で人口50%以上が65歳以上の高齢者になり、社会的共同生活の維持が困難になっている集落を「限界集落」と定義し、人口の50%以上が55歳以上を占める集落を「準限界集落」としている。高齢化など表面的な事象だけでなく、集落別に高齢化率や後継者の有無等の分析は重要である。本町においても「限界集落」（自治会や班）が存在するのではないか。</p> <p>今後どのように集落と向き合い、集落の存続と集落住民の福祉向上に努めようとされているかを尋ねる。</p> <p>①自治会長、行政協力委員等は地域で回り番となっている所が多い。しかし、高齢等で引き受けが困難な家庭が生じているが町の対応はどうか。</p> <p>②道路や水路の多くが、地元への維持管理委託や地元保全となっているが、高齢化、後継者不足により地元は苦慮していると聞くが町の対応はどうか。</p> <p>③集落の存続のためには、交通手段の確保が重要であるが、私が昨年質問をしたデマンド交通の対応はどのようになっているか尋ねる。</p>	町長
2. 自治体クラウドの取組について	<p>自治体クラウドは、町が基幹系情報システムを庁舎内ではなく、外部のデータセンターやメーカー等において保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする仕組みである。</p> <p>各自治体は、ほぼ同じ内容の業務を行っており、複数の自治体が共同化を進めることにより、割り勘効果によるコスト削減やシステム管理等の業務の負担軽減や住民サービスの向上が期待できる。また、東日本大震災の経験も踏まえ、セキュリティの強化、災害・事故等発生時の業務継続などを図ることができる。</p> <p>本町では、現在のシステムと自治体クラウドシステムのメリット、デメリット、経費等を比較検討されたことはあるのか。限られた財政の中で、コスト削減などのメリットがある自治体クラウドを早期に導入すべきと考えるが、町長の見解を尋ねる。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 長・中期の新町財政計画策定と財政収支について	<p>国においては、「相互に補強し合う『三本の矢』を一体化することで生まれる推進力により、民需主導の持続的成長を実現し、今後10年間の平均で名目国内総生産成長率3%程度、実質国内総生産成長率2%程度の成長を目指す」として中期財政計画を定めている。</p> <p>その中でわが国の財政状況を見ると、人口の高齢化等の要因によって歳出の増加が続く中、リーマンショック後の経済危機への対応、東日本への対応等が重なって近年著しく悪化が進み、2月末現在で969兆3243億2957万円、1家庭当りの負担額は1865万8612.62円にまで累増する等、極めて厳しい状況にある。</p> <p>こうした中で「三本の矢」が持続的に効果を発揮していくと共に、財政の健全化への取り組みを目指し、具体的な取り組みを決めているのはご高承の通りである。</p> <p>本町の財政の現状認識と一般会計、特別会計の聖域なき見直しを図り、財政収支の合う長・中期町財政計画を策定すべきと思う。</p> <p>町財政の健全化を目指す<b>新町財政計画策定</b>を期待してやまない。</p>	町長

<p>2. 防災拠点となる避難場所の耐震化推進状況について</p>	<p>防災拠点となる避難場所の耐震化の状況についてお尋ねする。 先日 NHK ニュースで聞いたのでは、全国的に見て山口県の耐震率は47都道府県のうち43番、即ち5番目に低く耐震化は遅れているとのことであった。 本町には14の避難場所が予定されている。うち10施設は公共施設であり、4施設は民間の施設である。「安全、安心なまちづくり」を標榜する本町での避難施設の耐震化はどのようにになっているかお尋ねする。 また、耐震化を推進するための財政措置はどのようにになっているのかお尋ねする。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 「道州制」についての町長の認識を尋ねる</p>	<p>かねてより、国においては道州制推進基本法案が与党を中心として取りざたされている。 そもそも、道州制導入のこれまでの議論は、政府・与党や財界主導、大都市中心により進められてきたものであり、住民に一番身近な町村との真摯な議論もない上に、国の形の根本であるにもかかわらず丁寧な説明や国民的な議論もないまま、一方的に中央から押し付けようとしていることは憲法や地方自治法、さらに地方分権等の精神に反するものである。 全国町村議長会は、あの国策として進めようとした悪法「平成の大合併」によって、合併した80%の町村が住民と行政が遠くなり、今や財政の再生に苦しんでいる状況から、道州制押しつけは事実上の強制合併を余儀なくさせられるものである、と反対の緊急声明を出している。本町議会においても反対の意見書を国に提出したところである。 町長は、この道州制導入について現在どのような認識をもっておられるか。また全国町村会の取り組み、全国市長会の対応はどのような状況かお尋ねする。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 最近の教育関係の諸問題について</p>	<p>次の点につき教育長のご所見を尋ねたい。 ①本年1月29日付けの産経新聞で27年度から中学校と高校の教員向けの指導要領解説書が改定されると報道されていた。どのような内容が改定されるのかお尋ねする。指導要領そのものの改定も同時に行われるのかも尋ねる。 ②卒業式の季節である。最近『蛍の光』や『あおげば尊し』を卒業式で聞く機会が少なくなった。 そういう中で田布施中学校では、『蛍の光』や『あおげば尊し』を「式歌」としてきちんと歌われている。毎年私は田布施中学校の卒業式では深い感銘を覚え、卒業生の前途に幸多かれと心から祝福させていただいている。 田布施中学校の取り組みに衷心より敬意を表したい。 (参考) 3 つくしのきはみ みちのおく うみやまとほく へだつとも そのまごころは へだてなく ひとつにつくせ くのために 4 ちしまのおくも おきなほも やしまのうちの まもりなり いたらんくくに いさをしく つとめよわがせ つつがなく</p>	<p>教育長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. まちづくり 庁舎内のあり方について	<p>毎年、複数人の職員採用がある。研修や職員の力を引き出す取り組みは行われているか。住民から一部職員の対応の悪さを聞く。職員はプロ意識をもって住民対応ができていないか。</p> <p>町長は町長室を出て、執務は職員と机を並べてはいかがか。副町長も同様に。職員の仕事ぶりも町民の顔も見える。逆に町長の仕事ぶりが町民から判る。町長、副町長室は必要か。</p>	町長
2. 健康づくり 対策と取組について	<p>平成25年度3月補正見込では予防接種事業、その他検診見込の減となっている。健康づくりの意識づけ「たぶせいきいき健康スタンプラリー」の効果を問う。高齢者の肺炎予防接種に町から補助ができないかと考えていたが、今年10月から国が水ぼうそうと成人用肺炎球菌の予防接種を予定している。この負担割合、対象者等、具体的事業内容を問う。</p>	町長
3. 国保について	<p>平成24年3月 資格書11世帯、短期証72世帯、平成25年3月資格書17世帯、短期証103世帯。発行数は増加傾向にあるが、税負担が大きすぎて払えない状況があるのではないかと。現在の発行数はいくらか。</p> <p>町広報No913で「医療費抑制への協力」が載っている。医療技術の高度化、生活習慣病患者増加等があるとしても、国保財政が厳しいと言われる要因はそもそも国庫負担の減額にあり、加入者だけの責任ではないと考えるがいかがか。</p> <p>広報の内容は国保税率の引き上げ準備であり、責任を加入者に転嫁し27年度国保税の増額を図るものではないか。</p>	町長
4. 社会保障とまちづくりについて	<p>本年4月から消費税が3%増額となる。昨年の12月に社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律が成立した。</p> <p>この社会保障制度改革推進法に対する見解を問う。</p> <p>本町でも使用・手数料の値上げがある。消費税増税社会保障の削減の中、住みよさ山口県一のまちづくりをどう進めるのか。</p>	町長